

平成 28 年度第 2 回桑名市上下水道事業経営審議会 議事要旨

日 時・場 所	平成 28 年 9 月 6 日 (火) 午後 1 時 30 分～ 桑名市役所多度町総合支所 3 階 305 会議室
出 席 者	委員：8 名 事務局：14 名 傍聴者：8 名
議 事 次 第	1. 開会挨拶 (企画総務課長) 2. 議事 (1) 前回審議会の補足説明 (2) 桑名市の上下水道事業の現況について (3) 財政見通しについて (投資・財政計画) (4) 料金改定とその効果について (5) その他 3. 閉会挨拶
要 旨	1. 開会挨拶 開会后、上下水道事業管理者より挨拶 会長より、議事録の要旨の公表を提案⇒委員承認 2 (1) 前回審議会の補足説明 ①過去に行った工事の管路整備状況⇒資料 1-1、1-2 ②建設改良工事の内容⇒資料 2-1、2-2 ③施設整備の法定耐用年数⇒資料 3 ④人口、配水量及び有収水量の推移⇒資料 4 ・次回までに繰越事業費の表を用意して欲しい。 ⇒年度別の表を用意する。 2 (2) 桑名市の上下水道事業の現況について 事務局より公営企業会計、水道事業および下水道事業の説明 ・平成 26 年度の水道事業の減価償却費が 35%、下水道事業が 59%とあるが、全国的にこの程度か、それとも桑名市の特徴や問題点を表す数字なのか？ ⇒水道の営業費用については他市町とほぼ同じ、下水道については普及率拡大を目指しており、非常に大きな施設投資に伴い減価償却費も大きくなっている。普及が遅れている市町は、このような状況にあると認識している。 ・資料 2 ページの固定資産売却額が大きい、この内容は？ ⇒有価証券の売却に伴うもの。 ・3 ページの長期前受金戻入が 37%と大きい、例年このような数値で続いていくのか？ ⇒従来、補助金等で取得した固定資産は減価償却していたが、これに紐づく補助金等を減価償却していなかった。制度改正に伴い、それ相当分を毎年長期前受金戻入として収益化していくことになった。直接、現金収入を伴う訳ではなく、収入の数字として計上されている。

2 (3) 財政見通しについて (投資・財政計画) (4) 料金改定とその効果について

事務局より説明

- ・財政計画における目標が根本にあるので、これが重要になると思う。
- ・地方公営企業に破産は無いので、財政計画に掲げている目標を達成できないと、結果的に地方公共団体の財政がそれを負担することになる。よって、この部分の議論をしっかりとしないと、地方財政全体として料金だけでなく税金などという形で市民にご負担していただくことになるので、これらも視野に入れながら全体像を見て議論していきたい。

- ・水道事業は 29 年度、33 年度の料金改定予定に対し、下水道事業は 29 年度のみとなっているが、下水道事業においては、しばらく改定しない判断か？  
⇒10 年間の戦略のシミュレーションの行った結果。今後の戦略の見直し時にシミュレーションを再度行い、今後の料金改定についても検討する。

- ・平成 36 年度に経常収支比率が 96.8%となっている。これは、もう一度料金改定があると示されているように受け取れるか？  
⇒非常に長期の工事を行わなければならない事業などがあり、最終年度の 36 年度は純損失が生じるシミュレーションとなっている。

- ・遊休資産など、資産価値の洗い出しを行った上での料金改定の流れでは？  
⇒資産の洗い出しについて、次回お示しする。

- ・今回の料金改定で、一般の家庭でどれ位上がるかが一番興味のあるところ。  
⇒次回、改定案の料金体系をお示ししながら、この場で議論していただく。

- ・資料 7 ページの伊勢大橋連絡管整備の 23 億円の財源は負担金か？  
⇒全て自己資金で賄う。

- ・累積欠損金は、どのように減らしたり消したりしてきたか？  
⇒水道事業は、以前は黒字だったのでその蓄えで補てんしていたが、その蓄えが無くなったので、平成 25 年度の前回の料金改定で赤字と累積欠損金の解消を行った。下水道事業においては、基準外繰入により基本的に黒字経営ではあるが、繰入金に頼らざるを得ない状況というところは大きい。

- ・今回の料金改定の耐久性について、もっと視野を広げて議論する必要がある。
- ・平成 27 年度決算で留意しておくべきことは？

⇒水道事業の営業収支は 3,000 万円余の純損失、資本的収支の建設改良費は前年度に比べ約 2 億 6,000 万円の支出増、下水道事業の営業収支は約 2 億 1,600 万円の純利益、資本的収支は前年度比 18.5%の収入減、9%の支出増となっている。

- ・桑名、多度、長島各地区の地域住民に理解していただくための説明会を十分行っていただきたい。

2 (5) その他

事務局より、次回の審議会の予定について連絡

3. 閉会挨拶

上下水道事業管理者より挨拶

(以上)